

# Canon

# EOS R1

始まりの“1”。



# 1

EOSの新たなるフラッグシップにふさわしい先進性能。

- 新開発 約2420万画素フルサイズ裏面照射積層CMOSセンサー
- もう一つの新映像エンジン DIGIC Acceleratorを搭載
- 次世代AF デュアルピクセル Intelligent AF
- 測距エリア全域でのクロスAFを実現
- 約9600万画素の画像を生成、カメラ内アップスケーリング
- 最高約40コマ/秒の高速連続撮影(電子シャッター時)
- ローリングシャッター歪みを大幅に低減
- 最大20コマ分さかのぼって撮れる、静止画ブリ連続撮影機能
- 動画撮影中に静止画を同時記録
- さらなる信頼性の追求

# まだ見ぬ“瞬間”を捉える。「1」は次の次元へ。

35mmフルサイズ裏面照射積層CMOSセンサーにより、優れた受光効率と高速読み出しを実現。

映像エンジンはDIGIC Xに加え、解析処理を瞬時に行う新開発<sup>※1</sup>の映像エンジンDIGIC Acceleratorを搭載。

裏面照射積層CMOSセンサーと2つの映像エンジンが連携し、EOS史上もっともパワフルなエンジンシステム、Accelerated Captureへと進化を遂げました。

この大量のデータを高速処理するシステムに、ディープラーニング技術をベースとした解析技術を融合。

かつてない高画質化、高速化、AF高精度化などさまざまな進化を実現しています。

## Accelerated Captureシステム



フルサイズ裏面照射積層  
CMOSセンサー



DIGIC Accelerator



DIGIC X

## ディープラーニング技術

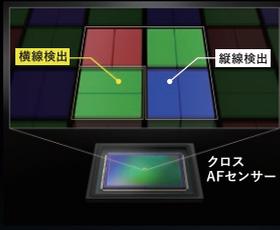
AF/処理アルゴリズムが進化  
高画質化・高精度検出を実現

## AFの進化

Accelerated Captureとディープラーニング技術をベースにした次世代AF、デュアルピクセル Intelligent AFを搭載。EOS R3を上回る<sup>※2</sup>トラッキングで、これまで追いきれなかった被写体の動きを高速解析、高速移動する被写体でもカメラが瞬時に判断して粘り強く追従し、撮影をサポートします。さらに、ファインダーを覗く瞳の動きでAF操作が行える視線入力<sup>※3</sup>を搭載。被写体にすばやくAFフレームを移動することができます。

### クロスAF & トラッキング新機能<sup>※1</sup>

測距エリア全域でクロスAF<sup>※1</sup>を実現し、従来の縦線検出に加え横線検出が可能になりました。横線が多い被写体や、被写体小さい場合にも安定した被写体捕捉が行えます。また被写体検出精度も向上、頭部領域を推定するアルゴリズムの採用による障害物回避や、人物が小さくても被写体として認識する上半身検知に加え、類似被写体が交錯するチームスポーツでも粘り強く撮りたい選手を追えます<sup>※5</sup>。さらに、カメラに特定の人物を登録しておく登録人物優先<sup>※6</sup>で、顔の向きが頻繁に変化する際にも追従が可能になりました。加えて、特定の動きをしている被写体を認識してAFフレームを移動させるアクション優先<sup>※7</sup>などの新機能も搭載しています。

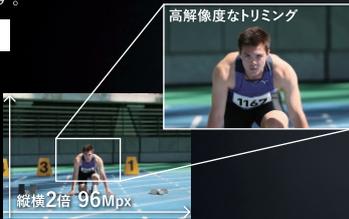


## 画質の進化

高速性能を向上させながら、約2420万画素・常用最高ISO感度102400を実現。高感度・高画質を両立しました。また、ボディ内5軸手ブレ補正を搭載。協調制御ではRFレンズ使用時に中央8.5段、周辺7.5段<sup>※11</sup>の補正効果を実現しています。

### カメラ内アップスケーリングを搭載

ディープラーニング技術を活用した、カメラ内アップスケーリングに対応。縦横の画素数をそれぞれ2倍に拡大して約9600万画素の高解像画像がカメラ内で生成できます<sup>※12</sup>。また、RAW現像時によりノイズを低減するニューラルネットワークノイズ低減<sup>※13</sup>にもカメラ内で対応。アップスケーリングと組み合わせて使用できます。



## 動画性能の進化

CINEMA EOS SYSTEMとさまざまな仕様を共通化。6K/60P RAWのカメラ本体記録やフルHD/60P動画を記録しながら、約1780万画素の静止画を同時に記録できる動画撮影中静止画記録機能<sup>※14</sup>も搭載しています。

### 撮影アシスト機能 & 画作り

Canon Log 3とCanon Log 2、特徴の異なる2つのLogを搭載。ファイルサイズの軽いProxy動画のサポート<sup>※15</sup>も同時記録<sup>※15</sup>できる撮影をサポートする機能のほか、CINEMA EOSシリーズと共通のカラープリセットとなるカスタムピクチャーも採用しています。汎用性が高く接続時の安定性の高いType-AのHDMI出力端子も備えています。

## 高速撮影の進化

電子シャッター時、最高約40コマ/秒<sup>※8</sup>。肉眼では捉えることのできない決定的瞬間を切りとることができます。電子シャッター時の幕速の高速化により、ローリングシャッター歪みもEOS-1D X Mark IIIのメカシャッター時とほぼ同等に低減しています。

### ブラックアウトフリー撮影 & 静止画ブリ連続撮影

連続撮影中も像消失のないブラックアウトフリー撮影<sup>※9</sup>を搭載。激しく動く被写体も見失うことなくAF追従状況を確認しながらフレーミングができます。またシャッターボタンを押したタイミングよりも、最大20コマ分さかのぼって連続撮影が可能な静止画ブリ連続撮影機能<sup>※10</sup>も搭載。撮影者の勘や経験に頼ることなく、安定した撮影が可能です。

連続撮影中はブラックアウトフリー

## “1”が受け継いできた信頼性を追求

グリップ部はより滑りにくい新しいグリップパターンを採用。マグネシウム合金製外装、防塵・防滴構造<sup>※16</sup>、放熱構造を備え、さまざまな環境で撮影を続けるための信頼性を追求しました。

## 通信機能の拡充と高速化を実現

無線でも有線でも通信を高速化。EOS初<sup>※1</sup>となるWi-Fi6E/Wi-Fi6や有線LAN新高速規格2.5GbE-Tに対応。現場で撮った静止画や動画を瞬時に転送できます。報道やスポーツなどにおいて、速報性の高いニュース配信が可能です。

## 撮影をサポートするアクセサリとアプリケーション

余計な光をカットして視認性や視線入力<sup>※3</sup>の精度向上をサポートする大型アイキャップや、雨天時も安心して撮影できるレインカバーを用意しています。また、新アプリケーション「Content Transfer Professional」(有償)では、静止画も動画もスマートフォン経由で高速送信が可能です。

※1 同時発表のEOS R5 Mark IIIにも搭載。 ※2 キヤノン試験基準において。 ※3 静止画撮影時のみ。動画撮影時は使用できません。ご使用前にキャリブレーションをお勧めします。サングラスやミラーサングラス、ハードコンタクト、遠近用メガミを使用した場合や、目の状態(目が細い/まつ毛が長い/まぶたが厚い)などの個人差、使用環境などにより、視線入力機能が使用できないことがあります。 ※4 動画撮影時、プリAF時、フォーカスガイド時、および闪光灯やLED照明などのフラッシャー光源下で撮影がもたらしている場合、RF100mm F2.8 L MACRO IS USMのSAコントロールリング操作時はクロスAFは機能しません(縦線検出のみ)。 ※5 服装や色、形が似ている被写体同士の場合、また、追尾対象が隠れている時間が長い場合は他の被写体にトラッキングが乗り移りやすくなることがあります。 ※6 顔の明るさ、大きさ、表情、動き、顔の一部が隠れるなどの要因により性能が低下する場合があります。 ※7 対応競技はサッカー/バスケットボール/バレーボール。静止画、電子シャッター時のみ。画面内で人の大きさが小さい場合、被写体の一部が隠れている、被写体同士が密集している場合には認識精度が落ちる場合があります。 ※8 連続撮影速度は、被写体/撮影条件、カメラ設定や使用レンズなどにより低下することがあります。フラッシャー検出した場合、フラッシャー撮影をオフにしている場合でも連続撮影速度が低下します。最高連続撮影速度に対応するレンズについては、弊ウェブサイトに「cam.start.canon」上にあるEOS R1の「補足情報」をご参照ください。 ※9 電子シャッター撮影時、絞り駆動による、黒いちらつきが見えることがあります。常時ブラックアウトフリー設定の場合、レリーズタイムラグがばらつくことがあります。 ※10 シャッタースピードが0.5秒より遅い時、またAEB撮影、ストロボ撮影、フリッカー軽減、フォーカスブラケット撮影、多重露出撮影では使用できません。【静止画IS:常時】が固定になります。【レンズの電子式手動フォーカス】の【ワンショット後・可能(拡大)】【可能(ワンショット後のみ拡大)】時は使用できません。シャッター方式は電子シャッターのみです。シャッターボタン全押し時のレリーズタイムラグがばらつくことがあります。 ※11 CIPA2024規格準拠。Yaw/Pitch/Roll補正性能。RF24-105mm F2.8 L IS USM Z (f=105mm)使用時。 ※12 対応画像:JPEG/HEIF画像。アップスケール済み画像をトリミングすることができません。 ※13 通常の[高感度撮影時のノイズ低減]よりも現像にかかるとかかります。 ※14 [動画撮影中静止画記録:入]設定時、動画はXF-AVC S YCC420 8bit、フルHD、59.94/50.00/29.97/25.00 fps、Long GOPで記録、静止画は5616×3168、アスペクト比(約)16:9、JPEGで記録されます。カード1に動画、カード2に静止画が記録されます。 ※15 スロット1記録設定が100fps以上の場合はProxy記録はできません。 ※16 防塵・防滴性能を発揮させるため、電池室やカードスロットカバー、端子カバーなどの開閉部をしっかり閉じ、シユーカーを装着する必要があります。カメラは防塵・防滴に配慮した構造になっていますが、砂塵や水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。

EOS R1ボディ ●商品コード:6577C001 ●JANコード:4549292-230116 ●オープン価格(価格は販売店にお問い合わせください)

PHOTO HOUSE CANON キヤノンフォトハウス [canon.jp/p-house](https://canon.jp/p-house)

カメラ・レンズやプリンターの最新機種を体験することができます。展示していない製品もごさいいますので、展示製品の最新情報はホームページでご確認ください。



●MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国および他国における商標または登録商標です。●MacintoshおよびMac OS、iPhone、iPad、iPod touchは米国および他国で登録されたApple Inc.の商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。●Google Play、AndroidはGoogle Inc.の商標です。●HDMIは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。●Wi-Fi、Wi-Fi CERTIFIEDはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。●Bluetoothは米国Bluetooth SIG、Inc.の登録商標です。●その他記載された社名、製品名等は、一般に各社の商標または登録商標です。●仕様は、2024年7月現在のものです。●価格は2024年7月現在のメーカー希望小売価格です。●本カタログのプリント紙、表紙裏面の写真などはハメコ合版です。●カラー写真等は、精密度の高い技術でつくられており、画素数や帯域に対する画質がある場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。なお、これらの点は画像には記録されません。●EOS R1の無償修理保証期間は、お買い上げ後1年間です。●修理対応期間は、製造打ち切り後1年間です。なお、一部機種では、弊社の判断により修理対応として同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただいた場合があります。その場合、旧機種でご利用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。

製品に関する情報はこちらでご確認いただけます。

Home Page キヤノン EOS ホームページ [canon.jp/eos](https://canon.jp/eos)

商品・サービスに関する疑問やお困りごとを解決 Q&A(よくあるご質問) [canon.jp/faq](https://canon.jp/faq)

●お求めは当店で

キヤノン お客様相談センター(デジタルカメラ) 0570-08-0002  
受付時間(平日・土)9:00~17:00(日・祝日、12/31~1/3は休業させていただきます)  
※上記番号をご利用いただくには03-6634-4264をご利用ください。※受付電話番号・時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Canon キヤノン株式会社  
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

安全にお使いいただくために  
●ご使用前に使用説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
●表示された正しい電源・電圧でお使いください。

2024年7月現在  
07241100 00598590